

平成 28 年度 第 2 回田平町地域協議会会議録

- 1 . 会 場 田平支所 3 階会議室
- 2 . 日 時 平成 28 年 8 月 4 日 (木) 14 時 00 分開会
- 3 . 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中西正人委員、松瀬郡一郎委員、
吉福弘実委員、長田康志委員、松本一郎委員、早田博子委員、
須藤豊博委員、安田豊委員、針尾郁子委員、小田浩吉委員、
手島りつ子委員、針尾幸一郎委員
- 4 . 欠席委員 永井正則委員
- 5 . 職 員 森川祐輔地域振興課長、
立石哲也地域振興課参事監兼市民協働班長、
松本哲朗産業建設班長、千代延貴史地域振興課主査、
氏田裕也田平町中央公民館長
- 6 . 議事録署名人 松瀬郡一郎委員、小田浩吉委員
- 7 . 傍聴人の数 1 人
- 8 . 審議案件等の概略及び審議結果

14 時 00 分 開会

- (1) 開会
- (2) 支所長挨拶
山口支所長挨拶 (森川課長代読)
- (3) 会長挨拶
久原会長挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によ

りまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、事務局から説明がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。

審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15名中14名の出席で地域自治区の設置に関する協議書第9条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。なお、永井正則委員から欠席の届けがあります。

続いて議事録署名委員の指名を行います。委員名簿の中から、松瀬郡一郎委員、小田浩吉委員を指名いたします。

(4) 審議事項

会長

それでは、会議次第にそって会議を進めてまいります。4番の審議事項に入ります。平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第39回たびら春まつり事業の実績評価につきまして、事務局の説明を求めます。

事務局

これより、平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第39回たびら春まつり事業の実績評価をしていただきますが、その前に採点の流れを説明いたします。

～採点の流れを説明～

以上、よろしく申し上げます。

会長

ただいま、事務局より審査の方法について説明がありましたが、何かご質問はございませんか。ないようですので、それでは審査に入ります。たびら春まつり実行委員会の入室をお願いします。第39回たびら春まつり事業について、たびら春まつり実行委員会からの実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

たびら春まつり実行委員会

第39回たびら春まつり実施概要報告書の主旨ですが、市内の特産品を一堂に展示・即売することにより、地場産品に対する住民相互の認識と理解を深めるとともに地場産業の育成を図りました。また、催し物を行うことにより観光宣伝とイメージアップを図りました。主催は、たびら春まつり実行委員会です。協賛は、平戸瀬

戸市場、平戸市商工会、平戸観光協会、西端夢浪漫、つばきスタンプクラブ、サムソンホテルです。後援は、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、日本放送協会長崎放送局、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、読売新聞西部本社、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社です。期間は、4月23日(土)11時から17時、24日(日)9時から17時までで、会場設営を23日7時から10時、搬入作業を23日10時から11時、舞台設営を9時から10時、撤去作業を24日17時から20時で行いました。会場は平戸魚市一帯で、会場配置位置は平戸魚市敷地・港湾側、指定駐車位置は来場者を家畜市場、出店者を大坪建設さん、県漁連さんの駐車場、シャトルバスは会場と家畜市場の1路線、イベント広場は荷捌所ステージ前、魚のつかみ取りは荷捌施設の外で行いました。音響照明設備は関本電器さん、発電機配線は玄海電設さん、交通指導警備は交通安全協会にお願いしました。内容といたしまして、総合物産展として、産業の育成を図るため、市内の特産品を主体とした総合物産展です。いちご等の新鮮野菜・野菜苗・園芸用品・平戸魚市とれたて新鮮活魚・鮮魚、フライフィッシュ、あごだしトムヤムクン、サザエ・ヒオウギ貝等の水産物及びいりこ等の水産加工品、あごだしうどん・おにぎり等の農水産加工品、たこ焼き・やきそば類、包丁等の日用雑貨、田平産平戸牛、その他千本引きや射的、金魚すくい等の子供向け出店や新鮮食材をその場で食することができる焼き台コーナーも設置しました。催し物ですが、23日のステージは田平中学校ブラスバンド部、平戸口社会館、若葉保育園、猶興館高校ダンス同好会、会場内では、北松農高研究発表、わくわく抽選会、その他ですが、11時から牛肉整理券配布、12時から田平産平戸牛の販売を行いました。24日のステージは和太鼓競演、大塚ヘルシーサークルジャズダンス、職人組合イベント、平戸一番音楽祭、よりこライブ、ヨサコイ、会場内では、職人組合の包丁研ぎ・まな板削り、わくわく抽選会、漁協青壮年部の魚のつかみ取り大会、その他ですが、9時から牛肉整理券配布、12時から田平産平戸牛の販売を行いました。日の浦商店街スタンプラリーですが、協賛店舗は18店舗で参加者は30名でした。動員数ですが、目標の2万人に対して12,300人でした。事前準備につきましては、実行委員会を4回、企画部会を3回、出店者会議を1回行っております。宣伝及び告知ですが、市ホームページ、チラシ、ポスター、各報道機関への情報発信、案内看板、のぼり設置、防災無線で広報しました。出店関係ですが、平成28年度につきましては、町内が29、町外が6、合計35の出店でした。出店者負担金につきましては、町内が5,000円、町外が7,000円の負担でした。収支精算書ですが、(精算額のみ)収入の部、市交付金1,380,000円、繰越金52,247円、その他2,589,179円、合計4,021,426円、支出の部、報償費185,350円、需用費786,761円、役務費51,000円、委託料401,373円、借上料564,531円、原材料費1,966,200円、予備費0円、合計3,955,215円、収入合計4,021,426円から支出合計3,955,215円を引いた66,211円が残額で次年度繰越と

なっています。春まつり実行委員会の実績評価の評価コメントといたしまして、特に今回は食に特化した内容としておりまして、新たにロケーションを活かしたバーベキューコーナーを設置し、その場で購入して食べてもらうようにしました。また、新たに加わりました平戸瀬戸市場や平戸魚市の仲買等の出店も勢力的であり、地場産にこだわった鮮魚つめ放題を始め、あごだしトムヤムクンやフライフィッシュ、あごだしうどんなどの新メニューも出店され人気商品でした。平戸魚市については、今回の印象を受けまして、秋頃にあご祭り、年末にもイベントを独自に開催する予定とのことです。イベントにつきましても、幼児から高齢者までが参加できる参加型のイベントも行い、春まつりを盛り上げることができたのではないかと考えています。当日2日間の売上金は約680万円ということで、ここ10年間で最大の売上金となっています。心配していました周辺の交通渋滞のトラブルもありませんでした。アンケート結果につきましては、イベント内容、会場ともに良かったということで、また来たいということに繋がった結果となっています。良いところや課題もありましたが、今後良いところはそれを伸ばして、課題は実行委員会で話して次回に活かしていきたいと思っています。以上です。

会長

報告が終わりましたので、質疑に入ります。何かご質問はございませんか。

委員

町内の出店者が10店舗以上増えている。町内の出店者を教えてください。

たびら春まつり実行委員会

29店舗ありますので、後ほど出店者一覧をお配りいたします。

委員

今年の動員数の目標が2万人、実数12,300人ですが、昨年の動員数を教えてください。

たびら春まつり実行委員会

昨年の動員数実数11,600人です。

委員

牛肉の販売で整理券はいるのか。並んだ順番でいいと思いますが。

たびら春まつり実行委員会

反省会の中でも販売整理券は不要との意見がありましたので、来年からは開始と同時に販売しようと予定しています。

委員

牛肉販売ですが、ステーキやヒレなどありましたが、量や金額が限定されているので、量を減らして金額を下げるなど誰でも買える金額でバラエティに富んだ工夫が必要と思います。

たびら春まつり実行委員会

今後JAさんとも協議して変えていきたいと思います。

委員

収支精算書で収入のその他、参加者負担金の額が出店者数と出店者負担金町内5,000円、町外7,000円をかけたも合いませんが、何か他にあるのですか。

たびら春まつり実行委員会

町内5,000円、町外7,000円は1コマ当たりの金額です。町内は27コマ、町外は12コマありましたので、それぞれかけて合計すると219,000円となります。

委員

収支精算書で支出の委託料が345,627円の減額ですが、その理由を教えてください。

たびら春まつり実行委員会

委託料ですが、当初予算時にステージ用のトラックなどの借上料を委託料で組んでいました。それを実績で整理を行いましたので、その差となっています。

委員

トラックなどのリースは委託料ではなく借上料であると事前に分かっていたことであるので、予算の組み替えをするなどきちっと予算の執行をしていただきたい。

会長

他にございませんか。ないようでありますので、質疑を終結いたします。有難うございました。たびら春まつり実行委員会の退室をお願いします。これから採点に入りますが、平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領第4条第2項に、申

請している団体を構成する実行委員たる協議会委員は、当該事業の審査から外れるものとする規定されていますので、たびら春まつり実行委員会委員でありませす中西委員は審査に加わることができませんのでご了承ください。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。集計結果は5番の協議事項終了後に事務局から報告いたします。

～採点中～

(5) 協議事項

会長

それでは、次に5番の協議事項に入ります。平戸市総合計画審議会委員の推薦について、事務局から説明をお願いします。

事務局

平戸市総合計画審議会委員の推薦について説明。

会長

ただいま事務局から説明がありましたように、この中から、平戸市総合計画審議会委員を1名推薦しなければなりません。どのようにいたしましょうか。立候補、または推薦という方法もありますが、ご意見をお願いいたします。

委員

推薦がいいと思います。

会長

推薦ということですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり。)

それでは、推薦の方法ということで進めたいと思います。

委員

この計画については、平戸市の将来10年間の目指す基本となる計画ですので、今までの田平の課題、また、今まちづくりで取り組んでいる内容等を熟知している人を選ぶ必要があると思います。行政にも長年携わり、地域協議会の会長でもある久原会長を推薦いたします。

会長

ただいま、 委員より平戸市総合計画審議会委員に久原委員を推薦すると言
うことですが、皆様にお諮りいたします。

それでは、平戸市総合計画審議会委員として、久原委員を推薦することにご異議
ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)(拍手する者あり。)

異議なしということでございますので、久原委員を推薦することに決めます。

会長

ここで、平成 28 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金実績評価第 39 回た
びら春まつりの集計結果がでましたので、事務局から報告をお願いします。

事務局

集計結果を報告します。第 39 回たびら春まつり事業について、地域協議会の評
価といたしまして、合計平均 78 点であり、総合評価 B の評価できるとなります。
また、評価コメントにつきましては、場所的に良かったと思う。今後に期待する。
客の導線(順路)が計画どおり行かなかった所がある。瀬戸市場を出発点として、
再度導線(順路)を計画し、全ての店舗に客が回るようにしていただきたい。シャ
トルバスの利用が少なかった。次年度からの検討が必要。今後の魚市での開催が 39
回行ってきた日程と合致できるのか。魚のセリ関係があると思う。当初の予算計
画が執行されてなく、今回は予算を十分に検討され執行されたい。牛肉の販売場所、
時間をもう少し考えられた方がよい。春まつりをやっているという感じが近くま
で来ないと分からなかった。春まつりの入場入口がいまいち分からず、瀬戸市場の
方から入ると本部が遠かったとの評価コメントがありました。以上、評価結果の報
告を終わります。

会長

それでは次のその他に入ります前に暫時休憩いたします。

〔休憩〕

(6) その他

会長

それでは会議を再開いたします。6 番その他のまちづくり運営協議会準備委員
会の経過報告について、これから各委員長に報告をしていただきます。各委員長の

入室をお願いいたします。まず初めに、南小学校区の松瀬委員長をお願いいたします。

田平南小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

進捗報告をいたします。発足会から第3回までは報告済ですので、第4回の4月14日分からご報告させていただきます。4回目ではありますが、平成28年4月14日(木)午後7時から9時まで行っています。内容といたしまして、部会構成の確認、4部会を構成いたしております。生活環境部会、健康福祉部会、産業振興部会、地域づくり部会であります。各部会活動については、各部会の事業内容を協議、その後各部会の発表を行っております。5回目ではありますが、5月9日(木)午後7時から9時まで行っています。内容につきましては、アンケートについて最終確認。実施時期、配布方法、提出期間、回収方法、各世帯1枚回答、回答用紙の大きさ、内容の確認を行いました。部会活動については、各部会の事業内容を再度協議、その後発表いたしております。道の駅活性化事業の交付金申請の現状報告、3月の準備委員会で国に500万円の交付金の申請中という話をしましたが、申請中の交付金について内示があり、6月議会の補正予算に通し7月から始動しております。6回目ですが、6月9日(木)午後7時から9時まで行いました。内容ですが、アンケートについて6月15日の囑託員便で配布する最終確認。配布方法、提出期間、回収方法、各世帯1枚回答、回答用紙の大きさ、内容の確認を行っております。部会活動については、今までの各部会の事業内容の振り返りや他の3部会からの意見交換を行っております。7月8日(金)午後6時30分から町民センター和室で3地区の役員、各部会の部会長が一堂に会しまして、各地区の進捗や推進上の課題、意見交換などを行っております。その時にやねだんのDVDを見ました。やねだんがどういう取り組みを行っているのかを見て意見交換を行いました。7回目となりますが、7月14日(木)午後7時から9時まで行い、内容につきましては、部会活動について各部会事業内容に事業名を付けております。最後に南小学校区の理念を決めないといけませんので、次回の8月25日(木)の委員会で協議をすることになっております。資料はございませんが口頭での報告となりました。以上でございます。

会長

次に北小学校区の針尾委員長をお願いいたします。

田平北小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

同じく3回目までは報告済ですので、4回目から報告させていただきます。4回目は4月19日(火)午後7時から行いました。内容として、部会を決定しました。北小学校区では健康福祉部会、田平づくり部会、環境・防災部会、子ども育成部会、

産業振興部会の5部会を作り、部会の役員を決定しました。また、住民アンケートについても全戸配布することを決定いたしました。5回目は5月17日(火)午後7時から行いました。部会活動について、成り行きの将来・可能的将来・対策を部会毎に分類したものの対策の項目を、お金も時間もかかる、お金はかかるが時間がかからない、お金はかからないが時間はかかる、お金も時間もかからないの4分野に分けて部会毎に発表しました。6回目は6月21日(火)午後7時から行いました。アンケートの中間経過報告や前回の4分野に分けた項目に、まち歩き時に挙げられた宝や課題などを加えて、意見の充実化を図りました。7回目は7月19日(火)午後7時から行い、アンケートの集計結果の報告をいたしました。約1,600戸中300の回答があり20%の回収率となりました。また、部会として、アンケート結果に基づき再度検討し今まで話し合ったものに事業名を付けました。次回は8月26日(金)午後7時から行うこととしています。以上です。

会長

次に東小学校区の久保委員長お願いいたします。

田平東小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

4月19日(火)午後7時から第4回目を行っております。アンケートを事前に行っておりましたので、その結果報告や部会を作りました。地域づくり部会、安心・安全部会、健康福祉部会、生活環境部会の4部会を作り、希望する部会に入らせていただいております。5月17日(火)午後7時から第5回目ということで、部会毎に分かれて、まちづくりアンケートの結果を基に部会活動の検討を行いました。6回目は6月28日(火)午後7時からまち歩きについての協議を行いました。日程を決めてから、アンケートでどういう問題や課題があるのか事前に分かっていましたのでそれを基にポイントやコースを選定しました。7回目は7月30日(土)9時からまち歩きを2グループに分けて行いました。初めて行った所、文化遺産などもあり、アンケートを基にその良い所や課題、気づいた点を再確認してまとめております。次回は8月23日(火)に再度取りまとめ、今後のスケジュールの確認を行う予定です。以上です。

会長

ただいま、まちづくり運営協議会準備委員会の経過報告について、各委員長から報告がありましたが、何かご質問ございませんか。

委員

各地区のアンケートの回収率ですが、北地区は20%ということですが、南地区

と東地区を教えてください。

田平南小学校区まちづくり運営協議会準備委員会
南地区は23%です。

田平東小学校区まちづくり運営協議会準備委員会
東地区は27%です。

委員

準備委員会はまちづくり計画を策定する団体であるのに、田平南小学校区まちづくり運営協議会準備委員会として国の交付金を受けて道の駅の活性化事業に取り組むようになったが、はたして交付金の交付団体として適正なのか。

地域振興課

実施主体は地域活動団体である必要があります。準備委員会には規約があり、正式な団体であると市は認めており、国も認めています。

委員

南小学校区のアンケートは遅かったのではないか。

田平南小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

4月に事務局の方が来られましたので、南小学校区のアンケートはかなり遅れていました。調査結果については、今月の準備委員会で報告する予定です。

委員

アンケートの回収率で北が20%、南が23%、東が27%の結果であるが、この回収率は高いのか低いのか。

地域振興課

一般的に統計は2割と言われていますが、今回の結果は低いと思います。まちづくりの意識が低いのかとも思われますが、どうしたら高い回収率を上げることができるのかを各準備委員会で考える必要があったのかかもしれません。今回のアンケートはまちづくりという総合的な広い範囲の内容であったため分かりづらかったのではないかと思います。もう少し細かい部分、例えばバスを導入するなどのアンケートであったら関心があったのかかもしれません。

委員

当初のまちづくりの話と違った流れになっている。行政は各委員長にどうすればいいのかを的確に指導すべきである。

委員

2年前に田平地域農業活性化協議会を作りまして、中山間地域であるとか多面的支払であるとか作物部会であるとか全部を網羅した会がありますけど、その中にまちづくり協議会にタッチするような話を持ちかけられている。産業振興であるとか県の方と話をしていますが、この協議会は別の目的を持って誕生した訳ですけど、国から県に言われたそうですが、まちづくり協議会に参入してくださいと言われていたということですが、そこはちょっと趣が違うのではないかなと思っています。

会長

それでは質疑を終結いたします。各委員長の皆様、ありがとうございました。退出をお願いいたします。

会長

次に産業振興部商工物産課から平戸市工業団地整備計画の経過について報告をお願いします。

産業振興部商工物産課

平戸市工業団地整備計画の経過について報告

会長

次にやよい幼稚園から今後の運営方針について説明をお願いします。

やよい幼稚園

今後の運営方針について説明

会長

次に、田平支所地域振興課から田平町ターミナルビルについての状況説明がありますのでお願いします。

田平支所地域振興課

日の浦にある田平町ターミナルビルは昭和52年に県が建設しました。平成10年

に田平町に無償譲渡された建物で、3階建の延べ床面積 959 m²あり、3階は平戸市商工会の所有となっています。1階はバス待合所、テナントで西肥自動車、漁協、お好み焼き屋があり、2階は全てテナントで事務所が3つと空き部屋が3つある状況です。年間の管理経費は約 300 万円、使用料収入は約 400 万円あり、これまでは黒字で推移しています。建築後 40 年経過し徐々に修繕費がかさんできており、平成 25 年度に約 1,000 万円かけて耐震化の工事を行っています。将来的に今後、大規模改修が必要となってくる可能性は十分に考えられるところです。また、テナントですから貸しビル業なので、行政が貸しビル業をする懸念があります。将来的に財政負担にもなることから、民間に売却し民間活力を活用した再開発等を期待するものであり、民間に売却することについての委員皆様のご意見を伺いたいと思います。

会長

ただいま、田平支所地域振興課から田平町ターミナルビルについての状況説明がありましたが、何かご意見はございませんか。

委員

3階は商工会所有なので、商工会の同意は取れるのか。また、そこは交通の要なのでそれを利用する方の利便性を確保した形であれば、民間への売却はいいことだと思います。

田平支所地域振興課

ある程度商工会にも話はしており、商工会としても将来的なことを考えて移転したいということは聞いています。また、バス待合所ですので、売却にあたってはバス待合所を確保することは条件としたいと考えています。

委員

法的に利用制限はないのか。

田平支所地域振興課

法的に利用制限はありません。

会長

他にございませんか。それでは意見を終結いたします。

最後に、次回の会議の開催ですが 11 月中に招集いたします。日程につきましては、調整を行いまして前もってご通知を差し上げますので、よろしくお願いいたし

ます。それでは、以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回田平町地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

16 時 45 分 閉会

9 . 会議録の公開・非公開 公開

10 . 会議資料等の名称及び内容

平成 28 年度第 2 回田平町地域協議会会議次第

平戸市まちづくり活性化事業交付金要綱

平戸市まちづくり活性化事業交付金審査要領

平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領

平成 28 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金実績報告に係る評価

平戸市総合計画審議会委員の推薦について

平戸市工業団地整備計画

平成 28 年度田平町中央公民館事業報告・事業予定表

田平町地域協議会だより

11 . 会議録の作成者の職氏名 平戸市田平支所地域振興課

主査 千代延 貴史

12 . その他 この会議録は、地域協議会の運営等に関する規則第 18 条第 2 項の規定により、要点記録とする。

平成 28 年 8 月 4 日

会議録署名人 松瀬 郡一郎

小田 浩吉